

小金井みんなの公園プロジェクト「play here」

栗山公園のんびりデー企画概要

1. 実施概要

- 日時：令和7年11月16日（日）午前11時～午後3時
（雨天時：午前11時～午後2時）
- 会場：栗山公園（雨天時：社会医学技術学院）
- 主催：小金井みんなの公園プロジェクト「play here」（小金井市/公共R不動産ほか）

2. 大切にしたいこと

- ありたい未来のための練習場であること
 - 挑戦や試行をする機会である**：事業全体として、まだまだ扱うべきテーマは山積しています。食のインクルーシブ、目に見えづらい障害を持つ方の居場所やケア、不登校支援等、すでに実践されている活動との連携を通して、まずは挑戦してみることのんびりデーでは大切にしたいと考えています。
 - 関係者の連携が促進される場であること**：小金井市周辺で活動を進める方々同士がつながることで、新たな視点での理解が深まる・何かに挑戦してみたいと思う方が増える・何かに関わってみたいと思う人が増える等、様々な相乗効果が生まれる場であることも大切にします。
 - 地域の気運や住民の主体的な関わりが醸成される機会であること**：実践を行っている方のみならず、広くplayhereにご関心をお寄せいただいているみなさんと一緒に接点をつくりたいと考えています。play hereで目指すことを多くの方々に共有すると同時に、ありたい未来をつくる共同実践者として、地域でともにあり続けることを目指します。

3. 実施体制

今年度チャレンジしたいテーマを「企画グループ」としてまとめ、実践者の方々とともにすることを大切にしたいと考えています。同時に、「サポーター」の枠組みも設けることで、より多くの方が気軽にに関わり合う場もつくり出していきます。

区分	内容
事務局	- 全体スケジュール管理 - 全体会場構成、備品準備、安全管理等ロジ全般 - アクセシビリティ検討 - 記録発信（出店者による発信促進含む）

企画グループ	・プログラム内容の検討、事務局との調整 ・当日の運営
サポーター	・会場設営・撤収（屋台や什器の組み立て、荷物の運搬等） ・勉強会ツアーの運営（受付・誘導等） ・インフォメーションコーナーの運営（来場者案内、イベントプログラムや地域情報の紹介等） ・会場全体の誘導（例：車椅子利用者の案内、こども対応等） ・各イベントプログラムの運営サポート等

4. 企画グループ

昨年度の実践をベースに、さらに実践と探究の輪を広げ・深めるために、グループごとにテーマ設定をし、企画を進めていきます。

さらに今年は、イベント全体に関わるグループとして、様々な方と学び合う機会をつくる「コミュニティラーニング」グループ、顔の見える関係をベースにより多くの方々が過ごしやすい公園のあり方を探るための「アクセシビリティ」グループを設置します。ありたい未来をつくる練習・探究の場として、みんなで知見や経験を寄せ合いながら試行錯誤を重ねていきます。

グループ名	テーマ・キーワード	具体活動案
アクセシビリティグループ	・障害のあるなしにかかわらず、誰にとっても心地よく過ごせる場づくりの探究 ・音・光・にぎやかさなどへの配慮の実験（ひとやすみできる空間づくり等）	・会場全体設計・レイアウト構築 ・安全管理等
コミュニティラーニンググループ	・「学び合いの場」としての公園活用 ・社会的処方ヒントにした、「人」を介在させた地域資源の利活用や循環の促進	・勉強会ツアー企画 ・インフォメーションコーナー企画 ・市関係部署の横断的な情報収集
遊びの発明グループ	・「遊具」だけに頼らない遊びをつくる ・「遊び」を通した居場所づくり	・遊び道具貸し出し ・遊びひろばの運営
福祉とつながるグループ	・日常と福祉をつなぐ ・福祉の「開き方」の実験 ・支援と出会うきっかけづくり	・相談コーナー ・こどもの遊び場等
インクルーシブフード&ドリンクグループ	・みんなで一緒に食を楽しむための探究 ・にぎわいとやさしさの共存	・飲食コーナー ・食にまつわる相談室等
みんなと焚き火グループ	・ゆるやかにみんなでいることの練習 ・役割を通じてつながることの実験	・みんなでつくる焚き火コーナー

5. 今後のスケジュール

- 令和7年8月下旬～9月上旬：各出店者の皆さんとのMTGにて、出店内容や役割分担等の擦り合わせ
- 令和7年9月上旬～9月末：広報素材（写真・文章等）の取りまとめ／出店の企画準備
- 令和7年10月上旬～：チラシやSNS等での広報スタート
- 令和7年11月16日：栗山公園のんびりデー本番当日